

蓬左

HÔSA



大炊御門家文書

大炊御門家文書

本文書は、①天皇即位、大嘗祭など

行幸啓 ③立太子、立后、宣下など ④元

服 ⑤元日・白馬・踏歌などの節会 ⑥

改元儀 ⑦法会、葬礼、陵墓、放生会 ⑧

伊勢神宮、賀茂上下社、春日大社などの神

社祭祀 ⑨叙位、任官、拝賀、着陣 ⑩朝

儀、公事など ⑪家政 ⑫文学・文芸

に大まかに分類され、節会などの先例を
抜書した部類記、伊勢神宮からの文書な
どがある。総点数は一一五七点、そのほ
とんどが近世のものである。

本文書を蔵した大炊御門家は、藤原北
家師実三男経実（一〇六八～一一三二）
を祖とし、代々有職故実を家職とした。

中近世には権大納言や左・右大臣、神宮
上卿（享保十六年まで神宮伝奏）などに
任じられた。神宮上卿とは、伊勢神宮か

ら式年遷宮諸祭や外内宮の神職の叙位な
どを取次ぎ、それらを天皇に奏上し、その
結果を伊勢神宮に知らせた要職であった。

近世後期に神宮上卿に任じられた大炊御
門経久（一七八一～一八五九）は、文化九

年（一八一二）二月二日～五月二十一日、

同十一年八月十九日～文政二年（一八一

九）二月十九日、同三年二月二十四日～同

五年四月七日の三期にわたり務めた。そ
の折、経久は備忘録として「神宮上卿之

記」を記したが、現在は文化十五（文政元
年、文政二年、同五年の三冊しかない。

ここでは、文政五年「神宮上卿之記」か

ら、文政十二年式年遷宮の山口祭の日時

決定の記述を紹介したい。山口祭は、式

年遷宮造営諸祭の最初に所用木材伐出の

安全を祈る祭典で、元禄二年（一六八九）

以降、式年遷宮の七年前に行われるよう
になった。

文政五年一月二十一日、伊勢神宮祭主

藤波光忠らから経久に山口祭の日時伺い
があった。その伺いを受け、陰陽寮陰陽
頭土御門晴親が、山口祭の日時とその正
式決定の陣儀をいくつかの候補日から陣
儀を二月三日、山口祭を三月七日に選定
した。その後、二月三日に行われた陣儀

に山口祭の開始時刻が諮られ、内宮は三
月七日巳の刻、外宮は同日午の刻に決定
し、経久はその後この決定を祭主に通知
した。

このように、「神宮上卿之記」は、伊勢神
宮から神宮上卿に到来する朝廷への取次
内容と朝廷内での決定までの動きがわか
る、興味深い資料である。

【参考文献】
渡辺修「神宮傳奏の補任について」『学習院史学』三八、二
〇〇〇年三月）
渡辺修「近世朝廷と神宮式年遷宮」『近世の天皇・朝廷研
究大会成果報告集』一所収、二〇〇八年三月）

（蓬左文庫 粕谷亜矢子）

名古屋市蓬左文庫 〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001番地 TEL(052)935-2173 FAX(052)935-2174
ホームページ <https://housa.city.nagoya.jp/> 〈蔵書検索もできます。〉

ご利用案内

■休館日／月曜日（祝日・振替休日のときは直後の平日）※変更することがあります。

令和7年12月15日(月)～令和8年1月3日(土)は特別整理・年末年始により休館します。

■展示室／【開室時間】午前10時～午後5時（入室は午後4時30分まで）

■閲覧室／無料 館外貸し出しはいたしません。

【閉架図書】午前9時30分～午前12時 午後1時～午後5時 【開架図書】午前9時30分～午後5時

【複写サービス】保存など支障のない範囲で、CD-Rからのプリントアウトまたはマイクロフィルム複写などの方法により行います。

電話・郵便・メールによる申込み可。

